

(別紙4(2))

事業所名 グループホーム 桃の香

## 目標達成計画

作成日: 平成 24 年 12 月 28 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1		地域連携については、併設するデイホボランティアや、小学校等が慰問に来られ、レクとしての交流のみである。	小学校の敬老会や、老人会など、こちらが出向くのが、理想であるが、現状は厳しい。そのため、まずは近隣のかたに、ホームの職員や利用者様の存在を認識していただくことを最初のステップとする。	散歩の際に近隣にある、ピアノ教室へ、顔を覚えていただくために、挨拶をおこなう。現在の民生委員が、近隣の小学校と交流が深い為、民生委員と相談させていただき助言をいただく。	12ヶ月
2		運営推進委員会では、定期的で開催されているのは、評価をいただいたが、①出席者②意見が記載された議事録がない。	議事録に出席者を記載すること。開催中、意見を記載する。ホーム職員で運営推進委員会の情報を共有する。	議事録作成者である施設長に、出席者の記載をお願いする。管理者およびケアマネージャーが、会議中の意見を記入した用紙をまとめ、書類を作成する。書類には、捺印欄をもうけて、ホームの全職員へ回覧し閲覧した際は捺印をもらう。	3ヶ月
3		災害対策として、近隣の協力を得られていない。	災害時、近隣の協力が得られる体制を整える。	入居者様のご家族さまが、ホームから、徒歩5分圏内に居住している。その家族様の協力を依頼する。協力をお願いする際、書面を作成し、説明し、同意を得られてから、捺印していただき、書類の複写をご家族にお渡しする。	3ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。